

伊勢崎市立第三中学校  
第1学年通信  
令和2年5月7日(木)  
休業期間臨時号No.5

# キラリ



## 特集！～予習の「考え方」とその「進め方」～

5/7以降の課題として、1年生の内容の「予習」がたくさん出されています。小学生にはあまり馴染みのない学習の方法だと思います。ここでは、「予習」とはどのような学習なのか、どのように進めて行けば良いのか、を特集してみました。



### < 予習の考え方 >

休業期間が長引く中「授業の遅れ」が心配されます。このような状況では、授業が再開されたときに「効率よく学習（授業）を進めていく」ことが、どうしても必要になってきます。そして、**学習(授業)の効率化を図る為には、「予習」はどうしても必要**になってくるのです。



「予習の考え方」について、「旅行」を例にあげて考えてみましょう。

2泊3日で修学旅行（京都）に行くと仮定しましょう。一般的には事前学習を行います。いわゆる「下調べ」です。そこでは、①「どこ（県や市）」に行くのか。②そこで、どんな「見学地」を回るのか。③それぞれの見学地の「見所」はどこなのか、等を調べます。



それらの下調べを全く行わずに、京都に行ったら、いったいどうなるでしょう？

まずはスタート出来るか心配です。何しろ、「見学地を決めるところ」から始めるのですから。そして、見学地には行ったものの「**見所**」が分からず、**なんとなく通り過ぎて**終わってしまうことも予想されます。旅行から帰ってきてからは、「**有名な見学地の「清水寺」や「金閣寺」に行っていない**ことに気づいて後悔する」なんていうこともあるかもしれませんね。

・ ・ なんと「**残念な修学旅行(大事なポイントが落ちていて、得るものが少ない旅行)**」になってしまいそうですね。

「下調べ」をしっかりしておけば、このような旅行にはならないはずですよ。



この例の「修学旅行の当日」が「授業」にあたります。そして修学旅行の「下調べ」の部分が、「予習」にあたります。

「授業」の前に、しっかりと「予習」をすることで・・・

- ①「**学習内容の大筋**」がつかめるので、**授業の流れが分かりやす**くなります。
- ②「**大切な事柄**」を押さえて事前に学習してあるので、**授業の「山場」が分かる**ようになったり、授業の中で、**より深いところまでを追求**したりすることが出来るようになります。
- ③「**自分が理解できていないポイント**」があらかじめ分かっているので、**目的意識をもって**授業に取り組むことが出来るようになります。

**予習は、授業の『質』を  
高めます！**



### < 予習の進め方 >

予習を進める上で、大切なポイントが3つあると考えています。

**(1) 予習では、「完全に理解すること」を求めています。より質の高い授業をつくるための「下準備」ととらえて下さい。**

学習範囲を読んで（音読など）、学習内容の大筋をつかむことも予習です。

ノートに『大事そう』な場所や事柄を書き出して、自分なりに理解しておくことも予習です。ある程度理解しておけば余裕が生まれ、授業の中でより深く追求していく事も出来るようになります。

実際に問題を解いたり、説明を読んだりして「問題が解けなかった」「理解できなかった」ところをチェックしたり、書き出したりしておくのも予習です。「どのように分からないのか。」までを記録しておくなどは、とてもレベルの高い予習といえます。



**□ 学習の範囲を読む。**

**□ 「大切だと思う場所」をまとめる。「重要語句」を理解したり、覚えたりする。**

**□ 実際に問題を解いてみて、「理解できていないポイント」を把握する。**

## (2)「自学自習」で対応できる学習内容は、先取りして覚えてしましましょう。

学習内容には、「授業に関係なく学習を進めていける内容のもの」があります。「漢字練習」「言葉の意味調べ」「英語の単語練習」などがそれです。これらの学習は、予習で先取りして進ませてもかまいません。

社会で「県や国の名前」を覚えたりするのも、これにあたると思います。



□「練習して覚えなければならないもの」を何度も練習して覚える。

## (3)「積み上げ」の教科は、「予習」の中に「復習」を組み込んでいくことが必要な場合があります。

特に、「数学」や「英語」は『積み上げの教科』と言われていています。学習した内容を基にして、それを発展させていく学問なので、既習の内容が理解されていないと次に進むことができません。

よって、予習を進めていく中で、既習の内容が理解されていないことに気づいたら、迷うことなく後ろに戻って『学習をやり直す（復習する）』ことが大切になります。



□「アルファベット」がすらすら書ける。

□小学校で学習する「計算」が一通り出来る。

□どの教科も、小学校の学習内容が「説明できる」ほどに理解できている。